

# 丹波の森づくり推進検討委員会に係る資料（概要）

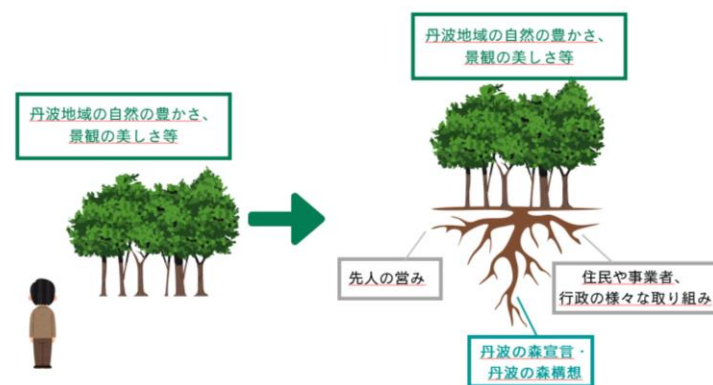
## ①委員会設置の背景・問題意識

・丹波篠山市においては、丹波の森宣言等の理念のもと、自然や環境、景観、文化等を大切にしまちづくりを進めてきた結果、多くの人を惹きつける魅力ある地域になってきている。

・しかしながら、いまある自然環境や景観、文化等は、決して無造作に存在しているのではなく、先人をはじめとする人々の営み（規制誘導も含め）なしには存在しえないものであり、こうした営みを理念として支えてきたのが丹波の森宣言に他ならない。

・丹波の森の豊かさ、美しさは、決して当たり前存在するものではなく、人々の不断の努力、意志がなければ、失われてしまいかねない。

・丹波の森づくりの認知の低下は、丹波の森づくりを持続的に進めていくためには、改善する必要性のある課題。



●市として、市民と丹波の森づくりに係る理念をしっかりと共有し、市民が「もりびと」として、丹波の森づくりに関わるよう図っていく必要性が高まっている。

## ②丹波の森協会の丹波の森づくりに係る理念浸透の取り組み（R6年度重点的取組み）

### ●丹波の森協会事業に係るものとして

- ・丹波の森協会職員を対象とした職員研修の実施
- ・丹波の森フェスティバルにおけるクイズ実施及びパネル展示
- ・丹波の森大学における講義前に映像放映
- ・SNSによる情報発信
- ・協会広報紙、各種イベントのチラシ等に丹波の森宣言等を効果的に掲載

### ●丹波県民局及び2市（丹波篠山市・丹波市）と連携した取り組み

- ・県民局への訪問・周知活動
- ・丹波の森構想推進連絡会の開催
- ・県市職員への学びの場を提供（丹波の森大学養成ゼミコース）
- ・県市担当部門協働（森づくりや地域づくり担当と協議）

### ●地域住民等に対する取り組み

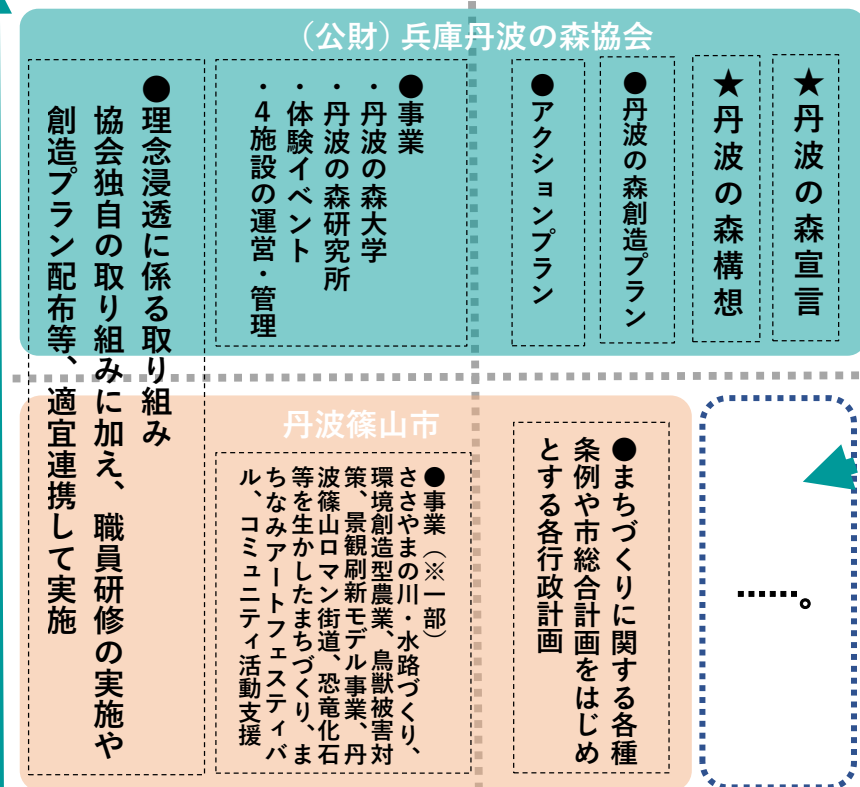
- ・若い世代への啓発については、丹波の森フェスティバルでの取り組み
- ・柏原高校の「地域探求」に係る取り組みの協議等
- ・地域で活躍する人（もりびと）の丹波の森もりびと賞
- ・様々な媒体で住民に対しアピール

●丹波の森協会として啓発に取り組みされるとともに、丹波篠山市としても連携して研修実施やパンフレットの配布、情報伝達による説明など様々な取り組みを進めてきている。

# 丹波の森づくり推進検討委員会に係る資料の概要について

## ③検討委員会の主な検討事項・論点

広域



●丹波篠山市としては、

- ・丹波の森協会との緊密な連携の下で、様々な取り組みを進めている。
- ・条例や総合計画等を見ている、随所に丹波の森づくりの理念を感じることができる。
- ・しかしながら、丹波の森協会におけるもっとも普遍的な丹波の森宣言や構想という部分では、市として直接的にそれに対応するものはない！

→この検討委員会では、条例化に向けた議論を主な論点として、今後検討していきたい。

普遍的・抽象的

## ④検討委員会の目的等

- (1) 委員会の設置目的については、丹波の森づくりに係る理念を、現在に留まらず、将来に渡って持続的に市民と共有していくために必要な事項について検討すること（同設置要綱第1条）
- (2) 委員会の所掌事項については、丹波の森づくりに係る理念の普及・啓発に関する事、そして、その他市長が必要と認める事項（同設置要綱第3条）
- (3) 委員会の検討事項については、上記(1)・(2)より、“丹波の森づくりに係る理念を、現在に留まらず、将来に渡って持続的に市民と共有していくための普及・啓発に関する事”が、中心的な検討課題